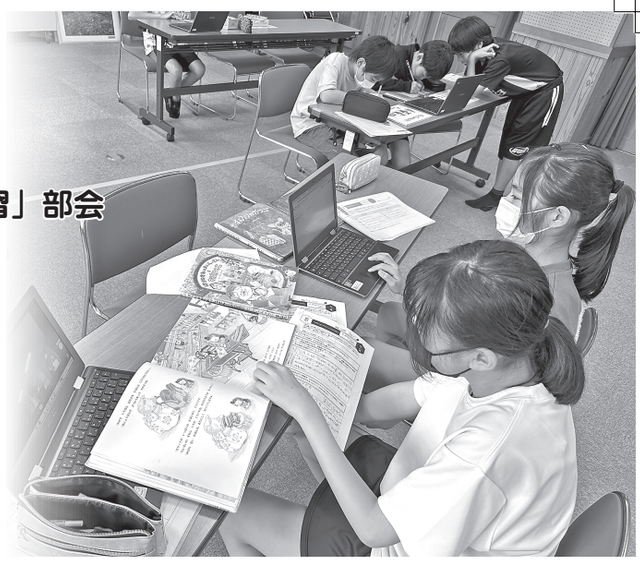
11/6 Thu

研究校　**赤穂小学校「単元内自由進度学習」部会**

共同研究者　**佐野亮子**
（東京学芸大学 非常勤講師）



自立した学習者の育成を目指した単元内自由進度学習

本校「単元内自由進度学習研究部会」では、部会研究テーマを「単元内自由進度学習　次の一歩を進めよう　～自立した学習者の育成を目指して～」と設定した。

本校では、昨年度初めて単元内自由進度学習に着手した。その実践からは「児童が意欲的に学ぶ姿がたくさん見られた」「誰でも授業に参加しやすいスタイルだった」「さまざまな教材にあふれる環境が効果的だった」という成果や、「身につけさせたい思考力・判断力・表現力にアプローチしづらい」「一人一人の学習を見取ることが難しい」といった課題が浮き彫りとなった。そこで今年度は、そこから一歩、一歩を進めるべく「次の一歩」とした。「次の一歩」とは、具体的には次の２点をイメージしている。

ⅰ　つけたい力に迫れるような、学習材、展開、ふりかえりの方法を考える。（特に「自己調整力」と「思考力・判断力・表現力」の育成にかかわって）

ⅱ　「本物」を感じ、子どもたちがもっと「自然とやってみたくなる」「ワクワクしてしまう」環境をつくる。

９月に行った今年度１回目の単元内自由進度学習（国語・図工）では、ⅱの「環境」について、オープンかつ豊かな教材にあふれる環境をつくることができたものの、ⅰの「つけたい力」へのアプローチがやや甘くなってしまった。11月の公開では算数と家庭科の２教科複合で実践を行う。この２教科は「つけたい力」を明確に打ち出せる特性があるので、ⅰの視点の充実に注力していきたい。

佐野先生との懇談を通じて、単元内自由進度学習でいちばん育てたい子どもの姿は「自立した学習者」であり、そこでは、自分で計画したり、自分で振り返ったりするだけでなく、「困ったときに自らどう動けるか」という視点が大切だということを教えていただいた。力のある教材・環境を生み出すことで、子どもたちが自分で自分の力を伸ばしていける学習の場を構築していきたい。

共同研究者 佐野先生から

単元内自由進度学習は、事前の準備に手間がかかりますが、実践が始まれば、子どもがどのように学んでいくのか、教師はじっくり見取ることができます。一斉授業では見られなかった、その子ならでは学び方やこだわりを発見できるのはワクワクします。子どもの変容をエピソードで語れるよう単元のケタでみていきたいです。

～日 程～

①	一般受付	12：50～13：05
②	授業公開	13：15～14：00 14：05～14：50
③	開会式	15：00～15：10
④	授業研究会	15：10～16：10
⑤	閉会式	16：10～16：20

本文（ブックレット vol.144）.indd　9　2025/09/29　14:31:36